

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	: イオン交換樹脂カートリッジ RF000131、RF000133
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	
会社名称	: 株式会社東洋製作所
住所	: 大阪府東大阪市本庄 2-4-6
担当部署	: 理化本部 品質保証室
電話番号	: 072-967-1360
緊急連絡先	: 東洋濾紙株式会社 品質保証部 お客様サポート室 電話番号 03-5521-2178 メールアドレス trk-hinsho@advantec.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	: 蒸留水製造装置/純水製造装置/超純水製造装置のイオン交換 水精製用カートリッジ



2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	
(注)記載なきGHS分類区分	: 区分に該当しない、分類できない。
GHSラベル要素	
絵表示(ピクトグラム)	: なし。
注意喚起語	: なし。
危険有害性情報	: なし。
注意書き	
安全対策	: 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
応急措置	: なし。
保管	: 直射日光を避け、換気の良い涼しい場所で保管すること。
廃棄	: 内容物/容器を地方、国の規則に従って廃棄すること。

当グループでは有効資源の再利用、環境破壊の防止のため、お客様のご要望に基づき、使用済みのイオン交換樹脂(カートリッジ)を回収いたします。
回収方法は当グループまたは販売店にお申し付けください。
輸送の場合は、指定の直送先にお送りください。
梱包方法は各製品の添付の説明書に詳しく記載されています。
十分に水を切ってから包装してお渡しまたはお送りください。

(注)本製品は、成形品であるため、GHS分類は上記の通り。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区分	: 混合物
化学品名又は一般名	: イオン交換樹脂カートリッジ RF000131 RF000133

組成及び成分情報：

化学名又は一般名	CAS 番号	化審法 官報公示 番号	安衛法 官報公示 番号	濃度又は濃度 範囲 (wt%)	備考
トリメチルアミン官能基を持つ スチレン・エチルスチレン・ ジビニルベンゼンの 共重合物のOH形	69011-18-3	6-3153 6-1452	9-2224	≤10-30≤*	イオン交換樹脂
スチレン・エチルスチレン・ ジビニルベンゼン共重合物の スルホン化物のH形	69011-20-7	6-3208 6-1454	9-2228	≤10-30≤*	イオン交換樹脂
水	7732-18-5	局方	—	<40-80<*	イオン交換樹脂
ポリプロピレンを 主体とする混合物	9003-07-0 9010-79-1	6-402 6-10	—	非開示	外筒、 エンドキャップ など
シリコンゴム	—	—	—	非開示	Oリング
ポリエチレン	9002-88-4	6-1	—	非開示	濾材
ポリプロピレンとポリエチレンを 主体とする混合物	9003-07-0 9002-88-4	6-402 6-1	—	非開示	濾材

※ 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

* カートリッジ内のイオン交換樹脂中の濃度又は濃度範囲を記載。

4. 応急措置

- 吸入した場合

： 通常使用の場合、以下の項目に該当しない。
万が一、イオン交換樹脂が漏出した場合は以下を参照のこと。
： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸に関する症状が出た場合：医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合

： 直ちに付着物を除去する。
石けんと多量の水で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合

： 直ちに医師の診断を受ける。
直ちに多量の水で洗浄し、時々上下のまぶたを持ち上げながら眼をすすぐ。
水で少なくとも15分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合

： 直ちに医師の診断を受ける。
気道を確保する。
コップ2杯の水を飲む。
意識がない場合、口から絶対に何も与えないこと。
症状が持続する場合は、医師に連絡する。
安静にする。
飲み込んだ場合：医療従事者の指示がない限り無理に吐かせない。
- 急性症状及び遅発性症状の
最も重要な徴候症状
応急措置をする者の保護

： 強い眼刺激。
： ばく露の危険がある時は、個人用防護具に関する「8. ばく露防止及び保護措置」を参照のこと。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤

： 周辺設備に適した消火剤を使用すること。

消火を行う者への勧告	: 関係者以外は安全な場所に退去させること。
火災時の特有の危険有害性	: 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
有害燃焼副産物	: 窒素酸化物(NO _x)、硫黄酸化物。
消火を行う者の特別な保護具及び 予防措置	: 個人用保護具を着用すること。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び 緊急時措置	: 関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで十分な換気を行う。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	: 上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。 汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないよう に注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	: 漏れた樹脂やこぼれた樹脂を掃き集めて、密閉できる空容器に 回収する。 回収した漏洩物は地方、国の規則に従って廃棄すること。
二次災害の防止策	: 環境規制に従って汚染された物体及び場所をよく洗浄する。 イオン交換樹脂はペレットやビーズ状であり、床に飛散すると 滑りやすくなるため、転倒しないように注意すること。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
安全取扱注意事項	: 使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 カートリッジを転倒させ、落下させ、衝撃を与え、又は引きず る等の取り扱いをしない。
保管	
安全な保管条件	: 直射日光を避け涼しい場所で保管する。 凍結禁止。
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	: イオン交換樹脂については以下を参照のこと。
許容濃度	: 設定されていない。
日本産業衛生学会	: [第3種粉塵] 2 mg/m ³ (吸入性粉塵)、8 mg/m ³ (総粉塵)
ACGIH	: [Particles(Insoluble or poorly soluble) Not Otherwise Specified] 3 mg/m ³ (Respirable), 10 mg/m ³ (Inhalable)
設備対策	: 適切な換気のある場所で取扱う。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	
呼吸用保護具	: 呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	: 保護手袋を着用すること。
眼の保護具	: 側面シールド付安全メガネまたは化学用品用ゴーグルを着用す る。
皮膚及び身体の保護具	: 長袖作業衣。
9. 物理的及び化学的性質	
物理的状態、形状、色など	: 以下に記載のない項目は、データなし。 : 固体。白色の円筒形状のカートリッジ。
臭い	: なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性	: 通常の手扱い条件下においては安定。

化学的安定性	: 通常の取扱い条件下においては安定。
危険有害反応可能性	: 熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。
避けるべき条件	: 火源、熱、高温、直射日光、凍結。

1 1. 有害性情報

急性毒性(経口)	: データなし。
急性毒性(経皮)	: データなし。
急性毒性(吸入: 気体)	: データなし。
急性毒性(吸入: 蒸気)	: データなし。
急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)	: データなし。
皮膚腐食性/刺激性	: データなし。
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: データなし。 ただし、イオン交換樹脂として区分1。 重篤な眼の損傷性。 眼刺激性。
呼吸器感作性	: データなし。
皮膚感作性	: データなし。
生殖細胞変異原性	: データなし。
発がん性	: データなし。
生殖毒性	: データなし。
生殖毒性・授乳影響	: データなし。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: データなし。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: データなし。
誤えん有害性	: データなし。

1 2. 環境影響情報

水生環境有害性 短期(急性)	: データなし。
水生環境有害性 長期(慢性)	: データなし。
生態毒性	: データなし。
残留性・分解性	: 難分解性。
生体蓄積性	: 低濃縮性。
土壤中の移動性	: データなし。
オゾン層への有害性	: データなし。

1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 地方/国の規則に従って廃棄すること。
-------	----------------------

当グループでは有効資源の再利用、環境破壊の防止のため、お客様のご要望に基づき、使用済みのイオン交換樹脂(カートリッジ)を回収いたします。回収方法は当グループまたは販売店にお申し付けください。輸送の場合は、指定の直送先にお送りください。梱包方法は各製品の添付の説明書に詳しく記載されています。十分に水を切ってから包装してお渡しまたはお送りください。

汚染容器及び包装	: 地方/国の規則に従って廃棄すること。
----------	----------------------

1 4. 輸送上の注意

国際規制	: 非該当。
国内規制	: 海上規制情報: 船舶安全法の規定に従う。 航空規制情報: 航空法の規定に従う。 陸上規制情報: 消防法、道路法、毒物及び劇物取締法の規定に

輸送の特定の安全対策及び条件 : 従う。
: 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認し、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当。
労働安全衛生法 : 非該当。
化学物質管理促進(PRTR)法 : 非該当(令和5年4月1日施行)。
消防法 : 非該当。
危険物船舶運送及び貯蔵規則 : 非該当。
航空法 : 非該当。
海洋汚染防止法 : 非該当。
水質汚濁防止法 : 非該当。
大気汚染防止法 : 非該当。

16. その他の情報

参考文献、参考ホームページなど

- ・ NITE 独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE-CHRIP NITE 化学物質総合情報提供システム (https://www.nite.go.jp/chem/chrp/chrp_search/systemTop)
- ・ GHS 混合物分類判定ラベル/SDS 作成支援システム NITE-Gmiccs (<https://www.ghs.nite.go.jp>)
- ・ 経済産業省、厚生労働省 安衛法におけるラベル表示・SDS(安全データシート)提供制度 (https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/law/information/seminar2023/GHSpamphlet_2023.pdf)
- ・ JIS Z 7252 : 2019
- ・ JIS Z 7253 : 2019
- ・ 化学品の分類および表示に関する世界調和システム(GHS) 改訂9版(2021年)
- ・ 許容濃度等の勧告(2023年度)(日本産業衛生学会)
- ・ 原材料メーカーSDS等

本データシートについて

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。

安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは含有量、物理・化学的性質、危険・有害、製品の性能等に関して、保証をするものではありません。

また、注意事項は、通常の取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、安全性を確認してからご利用ください。